

フラワーパークかごしまの民間活力の導入に向けた サウンディング型市場調査 結果概要

令和8年3月
鹿児島県 農政部 農産園芸課

鹿児島県では、フラワーパークかごしまの民間活力の導入により、賑わいの創出や収益性の向上、持続可能な運営を実現したいと考えております。

この度、施設運営や維持管理に関する民間事業者の皆様との対話（意見交換・提案等）を行い、今後の施設運営に反映することを目的としたサウンディング型市場調査を実施しましたので、結果概要を公表します。

調査にご協力いただいた民間事業者の皆様に御礼申し上げます。

1. 実施概要

参加事業者の募集	・ 県ホームページに実施概要を掲載し、参加事業者を公募 ・ 公募期間：令和7年10月7日（火）～10月23日（木）
実施方法	・ 事前に対話項目を送付の上、当日は対面又はオンラインにて実施 ・ 1事業者ごとに県との個別対話形式で実施
実施期間	・ 令和7年11月5日（水）～11月7日（金）

2. 参加事業者

計13者

（業種別：設計1，建設2，設計・運営1，管理運営4，金融1，コンサル1，その他3）

3. 結果概要（主なご意見）

(1) 事業参画について

計13者に参画いただき、本事業への関心は概ね以下のとおりでした。

参画意欲	事業者数
ぜひ参画したい	4者
参画したい	4者
どちらともいえない	5者

(2) コンセプト、ターゲット、運営方針等について

現在の施設のコンセプト（あり方）の見直しや、今後の望ましい運営のあり方について多数の御意見をいただきました。

(主な御意見)

- ・ 施設のコンセプトやあり方自体から転換を図る必要がある。
- ・ 施設名と内容が一致せずコンセプトがずれている。また、フラワーパークの名称や利用者のニーズとのギャップがある。
- ・ 施設を“観る”だけでなく“体験する”場へ転換する方向性は重要。
- ・ ペット向けの需要は増えており、ペット同伴入園の導入を検討してはどうか。
- ・ ユニバーサルツーリズムとしての位置づけは重要。
- ・ パーク全体のエンターテインメント化による価値向上が重要。
- ・ 花をテーマとしながらも体験とデジタルとの融合が必要。
- ・ 花き生産の強みを、施設運営と結びつけて発信することが有効。
- ・ 花だけでなく地域の特産品や飲食提供など多様な魅力を創出することが重要。
- ・ アクセスが不便だからこそ、行く価値のある施設を目指す必要がある。
- ・ 県と指宿市、周辺の観光資源との連携を図り、フラワーパークを観光拠点として位置づけることが必要。

(3) 園内各施設の利活用について

エントランス棟、フラワーホール棟、レストラン棟等の利活用に関するアイデアが複数寄せられました。参加いただいた民間事業者の皆様のノウハウに基づくアイデアであるため、具体的な内容については非公表とします。

(4) 事業手法について

施設の設計から運営までの事業者を一括で選定するPFI-R0方式や、DB0方式が望ましいとの御意見が多く寄せられました。

また、施設の立地上の問題等から、民間独立採算での新規施設の導入については消極的な意見が多く、施設整備に当たっては県側での費用負担が必要との意見が多く寄せられました。

(主な御意見)

- ・ 施設の更新・改修に民間の創意工夫やノウハウを活かすことが可能であり、運営段階においても、民間の効率的なマネジメント及びサービス向上に取り組めるDB0方式またはPFI-R0方式が望ましい。
- ・ 利用料金設定等の自由度が高く、民間の経営努力が収益に反映されるPFI-Rコンセッション方式が望ましい。
- ・ DB0方式が望ましい。
- ・ 地元企業としては、従来型の分離発注の方が参画しやすいと思う。

(5) 事業期間について

民間事業としての投資回収や、人材確保、スケールメリット等の観点から、長期間の事業期間が望ましいとの意見が多く寄せられました。

(主な御意見)

- ・ 他案件での実績から、15年が平均的ではないか。
- ・ 事業規模によるが、10年～20年が妥当。
- ・ 20年を超える事業は、事業判断が難しい。
- ・ 20年が妥当。
- ・ 長期間の方がスケールメリットや、人材確保の面で望ましい。

(6) 事業スケジュール

設計や改修工事のスケジュールの策定にあたっては、近年の情勢等や、事業の規模感を考慮しつつ、事業者と対話しつつ現実的なスケジュール設定が必要との意見が多く寄せられました。

(主な御意見)

- ・ 事業規模によって必要な期間が変わってくる。
- ・ 事業内容を詰めていく過程でも事業者と対話を行い、現実的な整備期間を設定することが重要。

(7) 公募期間

コンソーシアムの組成や、提案準備にあたって時間を要することから、半年～1年程度の公募期間を設けることが望ましいとの意見が多く寄せられました。

(主な意見)

- ・ 3か月程度（募集要項公表から提案書提出まで）が妥当。
- ・ 提案にあたっては対話や質疑等含め、相当の検討時間を設けて頂いた方がより良い提案ができるため、実施方針公表から契約までの期間は1年間程度の期間を設けて欲しい。
- ・ 公募開始から応募提出まで半年以上の期間を頂きたい。
- ・ コンソーシアム組成に時間を要するため、半年～1年程度の期間が欲しい。

(8) その他事業に関する要望・意見等

今後の事業の進め方や、公募条件等について以下のような意見が寄せられました。

(主な意見)

- ・ 収益の核となる事業や機能について県側から明確な方針を示してほしい。
- ・ 物価スライド条項を適用いただきたい。
- ・ 地元企業、事業者間のマッチングの機会を提供してほしい。
- ・ 昨今の物価高騰を踏まえ、事業費の目安は公募前から事業者に示し、対話をして頂いた方が不調回避に資する。
- ・ 利用料金は柔軟に設定できるよう運営側へ裁量を持たせることが望ましい。
- ・ 県外企業であり、鹿児島県内での公園管理実績がないことから、県内の事業実績などの参加要件は設定しないようにしてほしい。

- ・ 多様な主体を巻き込んだ事業展開が必要。
- ・ 民間側の動きが活発になるような積極的な情報開示・対話機会などを重視した事業推進を望む。

4. 今後の進め方

今回のサウンディング型市場調査でいただいたご意見については、今後の事業検討の参考とさせていただきます。